

令和5年度「情報I」シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	学科
情報	情報I	2	1	理数・国際英語

1. 学習到達目標

- (1) 情報と情報技術を活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を身に付ける。
- (2) 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を効果的に活用する力を養う。

2. 年間指導計画

学期	学習項目	学習内容・評価の観点	評価方法
1	オリエンテーション	学習目標、学習内容の理解。	
	ワープロ実習	ワープロソフトの基本的な操作方法を学ぶ。	実習課題
	情報のデジタル化	アナログとデジタルについて理解する。 情報の表現のしくみを理解する。	ワークシート
	著作権・個人情報	著作権侵害について考える。 個人情報と保護法について理解している。	実習課題 ワークシート
	表計算実習	表計算ソフトの基本的な操作方法を学ぶ。	実習課題
2	コンピュータのしくみ	コンピュータの基本的な構成を理解する。 制御やデータの流れを理解している。	ワークシート 実習課題
	アルゴリズム	アルゴリズムの構造を確認し、図や表で表現する方法を知る。	ワークシート 実習課題
	情報通信ネットワーク	ネットワークの構成を理解する。 情報セキュリティを高める方法について理解する。	ワークシート 実習課題
	情報システム	社会の情報システムについて理解する。 データベースの役割について理解する。	ワークシート 実習課題
	データの活用	データ活用と収集方法について学ぶ。 各種データの分析方法を理解する。	ワークシート 実習課題
	プレゼンテーション実習	プレゼンテーションソフトの基本的な操作方法。	実習課題
3	プログラムの構成要素	プログラムの構成要素を理解し、効果的な利用方法を考える。	ワークシート 実習課題
	プログラミング実習	プログラミングによりコンピュータを用いてシミュレーションする。	実習課題
	総合演習	大学入学共通テストを想定した演習を行う。	演習課題

3. 評価の観点・方法

知識・技能
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。
思考・判断・表現
事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的にもっている。
主体的に学習に取り組む態度
情報社会との関りについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

4. 使用教材

教科書：情報 I（日本文教出版） 副教材等：情報 I サブノート

5. 授業の進め方および課題・提出物等

- ① 教科書に沿って授業を展開し、各学期 1～2 回の定期考査を行う。
- ② コンピュータやソフトウェアの実習を行い、課題等の成果物を保存・提出する。